

令和 7 年度 都立橘高校 定時制課程
年間授業計画

第 2 学年 三修制

第 3 学年 三修制

人間と社会（第 1～3 学年）

橘高等学校定時制 令和7年度 教科公民 科目政治経済 年間授業計画

教 科 : 公民 科目: 政治經濟 單位數: 2 單位

対象学年組 : 第2学年 1組 (三修制)

教科担当者名： ()

使用教科書：（最新政治・經濟 実教出版）

使用教材 : (自作プリント)

科目 政治経済 の目標：日本の政治制度や市場経済の機能について学び、よりよい社会の実現に向けて主体的に解決する力を身につける。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
現代社会の基本原則を理解し、資料等から諸課題についてとらえる。		現代社会の諸課題について自分の意見を持ち、課題解決に向けて考える。		現代社会で起こっている事象に関心を持ち、よりよい社会の実現を目指す態度を養う。			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学期	○民主政治の基本原則を学び、国民の政治参加について理解する。 ○国会、内閣、裁判所と三権分立について概略をとらえる。 ○日本の選挙制度について学び、現在の選挙における課題を資料から読み取る。	現代国家と民主政治 ○民主政治の基本原則 日本の政治制度と政治参加 ○日本の政治機構 ○政党政治と選挙制度	【知】民主政治の基本原則を学び、国民の政治参加の方法を理解している。 【思】日本の選挙制度と選挙における課題について自分の考えをまとめている。 【態】よりよい社会の実現に向けて、政治を通して主体的に行動することや解決の方法を考えようとしている。	○	○	○	10 14
2 学期	○市場経済における価格の変化を市場の原理から理解する。 ○株式会社のしくみと企業の社会的責任について理解し、企業の活動が社会問題の解決につながることをとらえる。 ○市場経済で貨幣が担う役割としくみを理解する。 ○政府の経済活動の機能をとらえ、その課題について考える。	現代の経済社会 ○価格と市場の役割 ○株式会社のしくみ ○貨幣の役割と金融 ○財政の役割と課題	【知】市場経済における価格の変化を市場の原理から理解している。市場経済で貨幣が担う役割と金融のしくみを理解している。 【思】政府が行う経済活動の機能についてとらえ、歳入と歳出のバランスから持続可能な財政の在り方について自分の考えをまとめている。 【態】身近な株式会社の具体例から、投資によって企業を通して社会的課題を解決に導く方法を意欲的に追及している。	○	○	○	28
3 学期	○消費者の権利、労働者の権利、社会保障制度の概要を理解する。 ○消費者問題の具体例から、自分が消費者問題にあった場合、どのように解決することができるか考える。 ○日本の社会保障と財政の関係を資料から読み取りその課題についてとらえる。	現代の日本経済と福祉の向上 ○消費者問題 ○労働問題と労働者の権利 ○社会保障の役割と課題	【知】消費者の権利、労働者の権利、社会保障制度の概要を理解している。 【思】消費者問題の具体例から、自分事としてとらえ、消費者問題にあった場合の解決方法について、自分の考えをまとめようとしている。 【態】日本の社会保障制度の内容、社会保障と財政の関係を資料から読み取り、今後の社会保障の在り方について課題解決の方法を考えようとしている。	○	○	○	18
配 当 合 計 時 間							70

橘高等学校定時制 令和7年度 教科産業 科目ものづくり理論 年間授業計画

教 科 : 産業 科目:ものづくり理論 単位数: 2単位

対象学年組 : 第2学年 1組 三修制

教科担当者名： ()

使用教科書 : (なし)

使用教材 : (ICT機器、各工業製品・部品、工具類、補助プリント)

目 標 : ものづくりに興味・関心を持ち、発言や手順を考え、他者と協働して取り組めること。

計算技術検定合格を目指す。

真鍮の加工を通して、金属加工の基礎を習得する。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
工業で使用する材料について基本的な知識を習得するとともに、製造方法等の理解を深める。最後まで諦めずに理解する聞く力を身に付ける。		各製品・部品の働き・製造にともなう説明を的確に把握し、考察を深めるとともに、ものづくりに関する知識と製造技術を活用しながら説明する力を身に付けている。		各製品・部品の製造過程に興味・関心を持ち、ものづくりの基本を理解し、より良いものづくりを目指して主体的に学習に取り組もうとしている。			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学期	工業材料の基礎知識 ・金属の基本的知識を身に付ける。 ・成分による性質の変化を理解する。 ・材料について理解を深める。	・人類の進化と道具の利用 ・金属利用の歴史 鉄、銅、アルミの製造方法 合金の性質・加工方法・熱処理 ・動力の利用 ・原動機について	【知】作業に対して発言やノートを取り、理解を深めようとしている。 【思】基本的な働きを理解しようとしている。また、より良い利用方法を考察しようとしている。 【学】興味・関心を持ち、他者を理解し、協働して取り組もうとしている。	○	○	○	25
2 学期	・計算技術検定の資格受験 ・電卓の基本操作を身に付ける。 ・基本的な計算方法・式の操作を身に付ける。 ・設問に対応する応用力をつける。	・四則演算 ・集計計算 ・実務計算	【知】計算問題解説に対して発言やノートを取り、理解を深めようとしている。 【思】手順通りに計算しようとしている。またはより良い方法を考察しようとしている。 【学】興味・関心を持ち、他者を理解し、協働して取り組もうとしている。	○	○	○	25
3 学期	・金属の性質を理解する。 ・真鍮の基本的性質を習得する。 ・安全な金属加工を習得する。 丁寧な作業で作品を製作し、準備・片付けなどを協力して行う。	(真鍮加工) ・道具の準備、片付け ・器具の取り扱い ・加熱する際の安全作業。	【知】作業に対して発言やノートを取り、理解を深めようとしている。 【思】基本的な工作法を理解しようとしている。また、より良い方法を考察しようとしている。 【学】興味・関心を持ち、他者を理解し、協働して取り組もうとしている。	○	○	○	20
配 当 合 計 時 間							70

橘高等学校定時制 令和7年度 教科産業 ビジネス演習 年間授業計画

教 科： 産業 科目： ビジネス演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第2学年 三修制（1組）

教科担当者名： ()

使用教科書： 商品開発と流通 東京法令出版

使 用 教 材： 自己作成プリント

学習の到達目標：商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識を身に付けるようにする。資金調達の手段である株式に関する基本的な知識を理解する。

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】				
	商品開発の考案や流通の基礎知識を身に付ける。 株式に関する基礎知識を理解する。	知識を活用しながら、商品開発について考える。	新商品開発などに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。				
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学期	商品や商品開発の考え方，有形財だけでなくサービスや権利なども含めて流通において商品として取引されていることを理解させる。 資金調達的手段である株式について基礎知識を理解させる。	商品や商品開発の仕組みについて基礎的な仕組みを理解させる。 商品開発の重要性を理解できるようにする。 株式市場の仕組みについてその概要を理解させる。	【知】商品や商品開発、株式について概要や要点を捉える力を身に付けている。 【態】商品や商品開発、株式について正しく理解しようとしている。	○	○	○	8 16
2 学期	商品開発の意味や目的を理解し、要点を理解させる。 商品開発の種類について理解し要点を捉えさせる。	商品開発の必要性について理解させる。 商品開発の手順に従って開発を進めるリニア型開発，開発過程で商品価値の再発見が行われるノンリニア型開発の過程について扱う。	【知】商品開発の意味を理解し，概要や要点を捉えることができています。 【思】商品開発の種類分けを正確に行い，そこから体系的に思考することができるとしている。 【態】商品開発について正しく理解しようとしている。	○	○	○	12 16
3 学期	商品開発に必要な意思決定や分析手法について理解させる。 SWOT分析、PPM分析等	商品のライフサイクルや競争上の位置付けを明確にして商品開発の方針を決定すること及び商品のカテゴリーと標的市場などを整理して開発する商品テーマを決定することについて扱う。	【知】各種手法の意味や要点を捉える技能を身に付けている。 【思】各種手法を用いて，経営分析を行い，商品の開発方針などの意思決定を行うことができている。 【態】各種手法を用いて，自ら経営分析を行い，商品の開発方針などの意思決定を行おうとしている。	○	○	○	18
配 当 合 計 時 間							70

橘高等学校定時制 令和7年度 教科産業 科目情報演習（2年） 年間授業計画

教 科 : 産業 科目: 情報演習 (2年) 単位数: 2単位

対象学年組 : 第2学年 1組 (三修制)

教科担当者名： ()

使用教科書 : (なし)

使用教材 : 自作プリント等

科目 情報演習 の目標：産業科として、多様なビジネスシーンに役立つ情報の収集、処理、分析、表現と活用について考え、理解させる。
また、具体的にアプリケーションソフトやプログラミング言語などを使いそれらを実務的に行う技術や力を養う。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
・ ビジネスシーンに応じた情報の収集、処理、分析、表現を行うことができる知識や技術を身につけさせる。		・ ビジネスに関する情報を論理的に考えさせる。 ・ 収集した情報を必要に応じて活用し、的確に判断して表現できるようにする。		・ 主体的に学習に取り組むことができるようにする。 ・ 他者の意見をよく聞くことができるようにする。			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学期	課題に則して情報を収集し、それらをもとに適確な資料を作成したり、プレゼンテーションしたりする力を身につける。	・ 指導項目 課題に則した情報の収集と表現 ・ 教材 自作プリント 表計算ソフト（EXCEL） ・ 一人1台端末の活用（Teams Forms など）	【知】・ 情報の収集と分析の意義、種類について理解している。・ データとデータベースの基礎知識を理解している。・ 表計算ソフトウェアの基本的な使い方ができる。 【思】・ 場面に応じたプレゼンテーションソフトでの作成ができる。・ 場面に応じたプレゼンテーションソフトウェアでの表現ができる。・ 基本的な関数の利用やグラフ作成ができています。 【態】・ 場面に応じて、積極的に考えることができる。・ 自分の意見を他者に的確に伝えようとしている。・ 他者の意見や発表をよく聞こうとしている。・ 課題に対して具体的に考え、理解しようと取り組んでいる。・ 場面に対して、関心を持ち積極的に取り組んでいる。・ 協働的な学習を通じ、課題を解決しようと取り組んでいる。	○	○	○	8 16
2 学期	課題に則して情報を収集し、それらをもとに更に適確な資料を作成することによりビジネスシーンに役立てる力をつける。	・ 指導項目 企業活動の現状と関連するモラルや法規 ・ 教材 自作プリント ネット教材（関連するサイトや公開されている検定過去問題など） 表計算ソフト（EXCEL） ・ 一人1台端末の活用（Teams Forms など）	【知】・ 情報の意義と役割について理解している。・ 情報社会とモラル、法規について理解している。 【思】・ 情報社会と法規について、身近な問題を具体的に考え、判断することができる。応用的な関数や応用的なグラフ作成について理解し利用できている。・ 個人情報や知的財産の保護について具体例により考え、判断することができる。 【態】課題に対して具体的に考え、理解しようと積極的に取り組もうとしている。・ 協働的な学習を通じ、課題を解決しようと取り組んでいる。	○	○	○	12 16
3 学期	プログラミングについて基礎知識を理解する。	・ 指導項目 プログラミングと表現 ・ 教材 自作プリント （JavaScript microbit など）	【知】プログラミングについて基礎知識を理解している。 【思】基本的なプログラミング言語について理解し利用できている。 【態】基本的なプログラミング言語について理解しようとしている。	○	○	○	18
配 当 合 計 時 間							70

橘高等学校定時制 令和7年度 教科国語 科目三修制国語表現 年間授業計画

教 科 : 国語 科目 : 三修制国語表現 単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第3学年 1組 (三修制)

教科担当者名： ()

使用教科書：（国語表現 大修館書店）

使用教材 : (自作プリント)

科目 三修制国語表現 の目標：様々な表現方法を用いて、自己の考えを他者に伝える力を養う。原稿用紙に書くこと、メールで伝えること、スピーチやプレゼンテーションを行うことにより、実社会で必要な表現力を身に付ける。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】				
主体的・対話的で深い学びを通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。		論理的に考える力、他者に共感する力、想像する力を伸ばし、言葉で伝えあう力を高める。	現代社会における多様な話題・題材に対して興味を持ち、言語活動を通して、主体的に学習する態度を身に付ける。				
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学期	○「自己の高校生活（過去）」、「社会人としての自己（未来）」について、まとめる。 ○社会生活に必要な漢字を学習する。	○過去・未来の自分について、文章化する。 ○プリント学習により、漢字力を身に付ける。	【知】漢字を適切に読み書きできる。 【思】過去・未来における自己の在り方について、適切に文章化できる。 【態】適切な日本語を用いて、自己の在り方を表現する。	○	○	○	24
2 学期	○自己の現在、及び社会的な問題について文章としてまとめる。 ○社会生活に必要な漢字を学習する。	○現在の自己、社会的な問題について、自己の考え方を論理的に表現する。 ○プリント学習により、漢字力を身に付ける。	【知】文章表現において、漢字を適切に使用できる。 【思】現在の自己の在り方及び社会的な問題について、適切に文章として表現できる。 【態】社会における自己の在り方を論理的に表現する。	○	○	○	28
3 学期	○今まで培ってきた国語力を用いて、実践的な文章読解を試みる。 ○社会生活に必要な漢字を学習する。	○問題演習を通して、自己の国語力の向上を図る。 ○プリント学習により、漢字力をより一層向上させる。	【知】論理的な文章を読解し、それについての意見を表現できる。 【思】文章から読み取れる社会的な課題について、自己の意見を論理的に表現する。 【態】文章読解に積極的に取り組む。	○	○	○	18
配 当 合 計 時 間							70

橘高等学校定時制 令和7年度 教科数学 科目数学A 年間授業計画

教 科 : 数学 科目: 数学A 单位数: 2 单位 ※三修制

対象学年組 : 第3学年 1組 (三修制)

科担当者名 : ()

使用教科書：（東京書籍 新数学A）

使用教材：（ なし ）

科目 数学A の目標：数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成を目指す。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解し、数学的に解釈したり表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。		数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている		数学のよさを認識し主体的に学習に取り組もうとしていること。また、最後まで諦めずに理解しようとする努力の姿勢を身に付けていること。			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学期	・図形の性質 【知】比についての基本知識を身に付ける。 【思】三角形、四角形の性質を理解し、問題に活用できる。 【学】理解を深める。	・三角形の性質 三角形と比 三角形の重心・外心・内心 ・円の性質 円に内接する四角形 円と直線 接線と弦の作る角 方べきの定理	【知】三角形の性質について学習し理解していること。知識を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 【思】学習した知識を活用しながら考え、解決に向けて判断し表現することができる。 【学】基本的な知識を活用して応用する力がある。課題に真面目に取り組み解説などをしっかりと聞き、板書の書き写しができる。 【知】円の性質について学習し理解していること。知識を利用して、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 【思】基本的な性質をもとにより良い解き方を見付けようと考察している。 【学】興味・関心を持ち、他者の考え方を理解しようとしている。	○	○	○	25
2 学期	・数学と人間の活動 【知】整数の基本知識を身に付ける。 【思】倍数や約数の性質を理解する。 【学】理解を深める。 ・場合の数 【知】集合などの基礎知識を身に付ける。 【思】場合の数の性質を理解する。 【学】理解を深める。	・数のつくりを調べる 約数と倍数 最大公約数と最小公倍数 ユークリッドの互除法 2進法 ・場合の数 集合 集合の要素の個数 個数の数え方 和の法則と積の法則	【知】自らが積極的に素因数分解に取り組み、理解しようとしている。 【思】約数や倍数の性質をもとに相互の関係を理解し、考察している。 【学】興味・関心を持ち、発展させようとしている。 【知】事象と言葉の意味を理解して問題に活用している。 【思】身近な事象について場合の数の求め方を考察、理解している。 【学】興味・関心を持ち場合の数の求め方を理解しようとしている。	○	○	○	25
3 学期	・場合の数と確率 【知】組合せや確率などの基本知識を身に付ける。 【思】確立などの性質を理解する。 【学】理解を深める。	・場合の数と確率 順列、順列の利用 いろいろな順列 組合せ、組合せの利用 ・確率 事象と確率、確率の計算 排反事象の確率、余事象の確率、独立な試行の確率	【知】組合せや確率の考え方を利用して立式・計算し理解を深めようとしている。 【思】事象を考察し、順列、組合せの考え方と結び付けて考えている。 【学】興味・関心を持ち身近な事象についても取り組もうとしている。	○	○	○	20
配 当 合 計 時 間							70

橘高等学校定時制 令和7年度 教科保健体育 科目体育 年間授業計画

教 科 : 保健体育 科目: 体育 単位数: 1単位

対象学年組 : 第3学年 1組 (三修制)

教科担当者名: ()

使用教科書 : (現代高等保健体育 大修館書店)

使用教材 : ()

科目 体育 の目標: 生涯にわたって心身の健康の保持増進を目指し、豊かなスポーツライフを送れる資質と能力を養う。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を継続できるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身につけている。		・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		・生涯にわたって継続して運動に親しむため、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にするとともに、健康・安全を確保している。			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学期	・柔軟運動、体幹トレーニングを行い、柔軟性向上・体幹を強化する(体づくり運動)。 ・自分のペアや相手のペアの特徴に応じた作戦をたて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、各種ストローク、サーブなどの安定したボールの操作や、ダブルスにおけるパートナーとの連携した動きを高めて、ゲームを展開できるようにする(バドミントン・卓球)。	・体づくり運動 ・バドミントン ・卓球	【知】自己の狙いに応じ効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書いたりしている。 ・自分のペアや相手のペアの特徴に応じた作戦をたてることができる(ダブルス)。 【思】体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見つけている。 【態】危険の予測をしながら、回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	1 1 3 1 2
2 学期	・自チームや相手チームの特徴に応じた作戦を立て、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、状況に応じたパスやドリブル、シュートなどのボール操作と攻守などのチームメイトと連携した動きを高め、ゲームを展開できるようにする。	・バスケットボール	【知】自己の狙いに応じ効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書いたりしている。 ・状況に応じたパスやドリブル、シュートなどのボール操作と攻守など、チームメイトと連携した動きをすることができる。 【思】体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見つけている。 【態】危険の予測をしながら、回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	9
3 学期							
配 当 合 計 時 間							3 5

※1単位のため2時間授業を年度前半で実施。

橘高等学校定時制 令和7年度 教科外国語 科目論理・表現Ⅰ 年間授業計画

教 科 : 英語 科目 : 論理・表現 I 単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第3学年 1組 (三修制)

教科担当者名： ()

使用教科書 : (VISTA Logic and Expression I)

使用教材 : (なし)

科目 論理・表現Ⅰ の目標：英語の基礎知識を復習し、中学英語の定着と高校英語への発展を目指す

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
英語の基礎知識を身に付ける。 英語の検定にチャレンジする		知識を活用しながら自分を表現する力を身に付けている。		主体的に学習に取り組もうとしている。			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学 期	比較（比較級／最上級／as…as～） 助動詞①（can／may） 助動詞②（must／have to／should）	日常生活／対話での驚く表現を学ぶ。 日常生活／スピーチの場面で、理由を述べる表現を学ぶ。 地域での活動／ホームページで、事実を伝える表現を学ぶ。	【知】進行形や助動詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思】進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えている。 【態】進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	4 1 2 1 1
	受動態 不定詞①（名詞的用法）／動名詞 不定詞②（副詞的用法／形容詞的用法） 分詞（現在分詞／過去分詞）	日常生活／対話の場面で、同意する表現・図表の説明を学ぶ。 学校生活／スピーチの場面で、順序を述べる表現を学ぶ。 社会生活／ホームページ/プレゼンテーションの場面で、出典・引用を示す表現や例示の仕方を学ぶ。 本・新聞・雑誌／意見・感想文の場面で、意見を述べる表現を学ぶ。	【知】不定詞・動名詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思】不定詞・動名詞を用いて、好きな動物について、健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えている。 【態】不定詞・動名詞を用いて、好きな動物について、健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	1 2 1 2
2 学 期	関係代名詞 仮定法（If ～／I wish ～）	日常生活／対話の場面で、同意する表現・図表の説明を学ぶ。 学校生活／スピーチの場面で、順序を述べる表現を学ぶ。 社会生活／ホームページ/プレゼンテーションの場面で、出典・引用を示す表現や例示の仕方を学ぶ。 本・新聞・雑誌／意見・感想文の場面で、意見を述べる表現を学ぶ。	【知】関係代名詞・仮定法を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思】関係代名詞・仮定法を用いて、こくさ協力やSDG'sについて、考えや気持ちを話して伝えている。 【態】関係代名詞・仮定法を用いて、こくさ協力やSDG'sについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	9 1 0
	3 学 期	配 当 合 計 時 間					
							7 0

橘高等学校定時制 令和7年度 教科産業 科目産業ビジネスマナー 年間授業計画

教 科 : 産 業 科目 : 産業ビジネスマナー 単位数 : 1 単位

対象学年組 : 第3学年 1組 (三修制)

教科担当者名： ()

使用教科書 : (なし)

使用教材 : (自己作成プリント)

科目 産業ビジネスマナーの目標：一般常識を学び、進路に役立てる。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
ビジネスマナーを身に付け、自ら課題を探求し、解決する能力を備える。		知識を活用しながら理解する力を身に付けている。		主体的に学習に取り組もうとしている。			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学 期	一般常識を学ぶ。	一般常識について基礎的な仕組みを指導する。	【知】一般常識について身に付けている。	○	○	○	6
	論文について学習する。	課題の担い手について重要性を理解している。	【態】論文について正しく理解しようとしている。				4
	能動的にとらえる能力を身に付ける。	課題を探求することについてその概要を理解させる。					5
2 学 期	面接の意味や目的を理解し、要点をとらえる技能を身に付ける。	面接練習の必要性について理解させる。	【知】面接の意味を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	○	○	○	15
	面接練習を通して、受け答えの方法を考え出し、それを理解する力を身に付ける。	面接練習の必要性について理解させる。	【思】実際の行動を用いて、提示されたものから、相手の意思を理解できる。 【態】事例から企業の問題点を理解しようとする。				
3 学 期	進路試験を通して、自分自身を表現することの重要性を理解させる。	進路試験における自分自身の課題を見つけ出せるようにする。	【知】課題を理解し、意味や要点を捉える技能を身に付けている。 【思】課題解決の方策を体系的に思考することができる。 【態】企業の課題を探求できるようにする。	○	○	○	5
配 当 合 計 時 間							35

橘高等学校定時制 令和7年度 教科人間と社会 科目人間と社会 年間授業計画

教 科 : 人間と社会 科目 : 人間と社会 単位数 : 第1学年から第3学年で1単位

対象学年組 : 第1学年 1組 ~ 第3学年 1組

教科担当者名： (第1学年 () 第2学年 () 第3学年 () ・その他職員)

使用教科書：（人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」）

科目 人間と社会の目標：自分自身や社会の課題を見つけ、解決するために必要な力を身につける。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、その解決に向けて必要な知識や技能を身につける。		社会的現実にはらし、よりより生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析する力を身につける。		演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする。			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学 期	第1章人間関係を築く	・グループエンカウンター（1年）	・社会参画や公共の精神に関する道徳的価値について理解している。【知】 ・他者と協働しながらよりよい人間関係を築くことについて考え、社会の一員として主体的に行動できる。【思】 ・他者と協力しながらよりよい人間関係を築こうとしている。【態】	○	○	○	12
	第3章働くことの意義	・進路学習（1～3年）	・働くことと社会貢献の関連について理解している。【知】 ・働くことは社会貢献につながるということについて、考えを深めている。【思】 ・働くことと社会貢献について、主体的に学ぼうとしている。【態】				
	第19章主権者・成年としての権利と責任	・主権者教育（1～3年）	・主権者・成年としての権利と責任について理解している。【知】 ・社会を担う者として主体的に考え行動できる。【思】 ・主権者としてよりよい社会を築こうとしている。【態】				
	第12章支え合う社会	・地域連携防災訓練（1～3年）	・自助のための必要最低限な知識を有している。【知】 ・自助・共助を成し遂げるために、的確に状況を把握し、自分の考えを言葉にできる。【思】 ・自助・共助を成し遂げるために、他者と協働しながら物事を進めようとしている。【態】				
2 学 期	第1章人間関係を築く	・グループエンカウンター（1年）	・1学期欄参照	○	○	○	12
	第9章働くことの意義	・進路行事（1～3年） ・ハローワーク見学（3年）	・1学期欄参照				
	第10章お金の意義	・金融教育（1～3年）	・収支の管理、人や社会を幸せにするお金、税や社会保障、人生のリスクについて理解している。【知】 ・望ましいお金の使い方について考えを深めている。【思】 ・お金の意義について、主体的に学ぼうとしている。【態】				
3 学 年	第9章働くことの意義	・進路行事（1～3年）	・1学期欄参照	○	○	○	11
	第6章スマートフォン時代のコミュニケーション	・情報メディア教育（1～3年）	・スマートフォンを利用することで生じるコミュニケーションの問題について理解している。【知】 ・スマートフォンを活用したコミュニケーションについてどうあるべきか考え、行動することができる。【思】 ・スマートフォンの利用におけるコミュニケーションについて課題を見つけ、主体的に学ぼうとしている。【態】				
	第15章科学技術と生命倫理	・がん教育（1～3年）	・科学技術の進歩やいのちの問題について理解している。【知】 ・科学技術の進歩やいのちの問題について考えを深めている。【思】 ・科学技術の進歩やいのちの問題について主体的に学ぼうとしている。【態】				
配 当 合 計 時 間							35

